

メディカルワイヤロープは、主にSUS304、SUS316、SUS316L材から構成されたワイヤロープで、それぞれ特性に合わせて使用されます。メディカルワイヤロープには、撚線完成後のロープに電解研磨処理と超音波洗浄を行います。洗浄することで、汚れ取りと脱脂ができ、清潔なワイヤに仕上がります。

ステンレスの化学成分表

化学成分	C	Si	Mn	P	S	Ni	Cr	Mo
SUS304	0.08 > 以下	1.00 > 以下	2.00 > 以下	0.045 > 以下	0.030 > 以下	8.00~10.50	18.00~20.00	-
SUS316	0.08 > 以下	1.00 > 以下	2.00 > 以下	0.045 > 以下	0.030 > 以下	10.00~14.00	16.00~18.00	2.00~3.00
SUS316L	0.08 > 以下	1.00 > 以下	2.00 > 以下	0.045 > 以下	0.030 > 以下	12.00~15.00	16.00~18.00	2.00~3.00

SUS304	オーステナイト系ステンレスに分類され、ステンレスの中で最も使われているステンレスと言われている。クロムが11%含まれている場合、不動耐被膜を自ら生成できるため、錆に強い。しかし熱膨張しやすく、硬く、粘り気がある。
SUS316	SUS304よりも耐食性に優れている。Crが18%含まれているため、SUS304と同じく不動耐被膜を持ち、かつ被膜に切れ目が入ったとしても自ら被膜を作り出すことができる。またクロムが被膜を生成できない環境下、主に海水などの高濃度の塩酸溶液下でもモリブデンを有しているため、自ら被膜を生成し、錆を防ぐことができる。しかし熱膨張しやすく、硬く、粘り気がある。
SUS316L	SUS316LのLはLower Carbonのことを指し、SUS316よりも低炭素鋼材である。耐粒界腐食性、耐食性、耐酸性に優れている。

硬

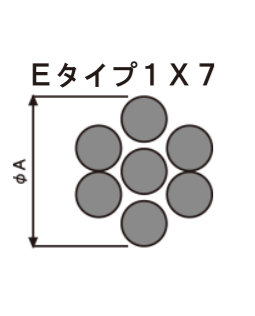
↑

↓

軟

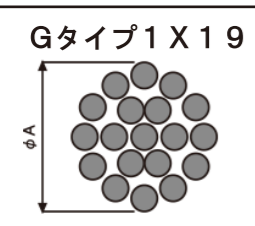
CODE No.	公称径	素線径	重量 (g/m)	破断強度(kg)	
				Kg	N
E-7	0.07	0.025	0.03	0.5	4.6
E-9	0.09	0.030	0.04	1.0	9.9
E-15	0.15	0.050	0.11	2.7	26.4
E-21	0.21	0.070	0.11	5.2	51.0
E-27	0.27	0.090	0.37	8.8	86.4
E-30	0.30	0.100	0.46	12.1	118.2
E-36	0.36	0.120	0.66	17.6	172.0
E-45	0.45	0.150	1.05	26.9	263.4
E-51	0.51	0.170	1.35	35.4	346.8
E-57	0.57	0.190	1.68	41.9	410.6
E-69	0.69	0.230	2.46	60.7	595.2
E-81	0.81	0.270	3.39	80.2	785.6
E-102	1.02	0.340	5.38	123.0	1,205.4

**Eタイプ 1 X 7**



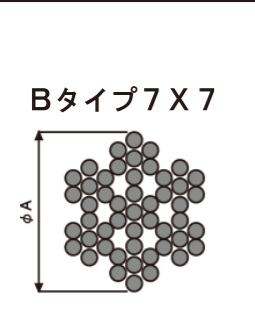
CODE No.	公称径	素線径	重量 (g/m)	破断強度(kg)	
				Kg	N
G-12	0.13	0.025	0.08	1.3	13.1
G-20	0.20	0.040	0.20	4.5	44.4
G-30	0.30	0.060	0.44	10.1	99.3
G-40	0.40	0.080	0.78	18.1	177.5
G-50	0.50	0.100	1.24	28.4	278.2
G-60	0.60	0.120	1.78	41.8	409.3
G-80	0.80	0.160	3.17	67.1	657.7
G-100	1.00	0.200	5.05	113.5	1,112.3

**Gタイプ 1 X 19**



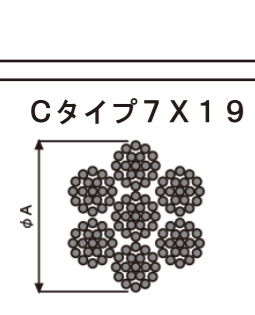
CODE No.	公称径	素線径	重量 (g/m)	破断強度(kg)	
				Kg	N
B-22	0.22	0.025	0.20	3.2	31.4
B-27	0.27	0.030	0.30	6.9	67.3
B-36	0.36	0.040	0.53	11.0	108.0
B-45	0.45	0.050	0.80	19.1	187.1
B-54	0.54	0.060	1.15	26.1	255.7
B-63	0.63	0.070	1.56	36.4	356.3
B-72	0.72	0.080	2.04	46.4	454.8
B-81	0.81	0.090	2.63	59.8	585.8
B-90	0.90	0.100	3.25	72.5	710.8
B-100	1.00	0.110	3.94	89.2	874.2
B-108	1.08	0.120	4.69	105.6	1,034.9
B-120	1.20	0.130	5.50	118.0	1,156.4
B-135	1.35	0.150	7.32	150.3	1,472.9
B-150	1.50	0.165	9.40	188.7	1,849.3
B-180	1.80	0.200	13.15	270.8	2,653.8
B-200	2.00	0.220	16.20	330.0	3,234.0

**Bタイプ 7 X 7**

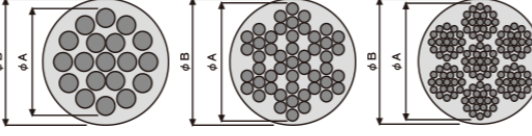


CODE No.	公称径	素線径	重量 (g/m)	破断強度(kg)	
				Kg	N
C-45	0.45	0.030	0.80	17.5	171.9
C-60	0.60	0.040	1.43	28.1	275.4
C-75	0.75	0.050	2.17	50.0	490.0
C-90	0.90	0.060	3.12	63.5	622.3
C-105	1.05	0.070	4.33	95.0	931.0
C-120	1.20	0.080	5.65	119.0	1,166.4
C-150	1.50	0.100	9.00	188.1	1,843.2
C-180	1.80	0.120	13.00	260.0	2,540.0
C-200	2.00	0.130	16.00	320.0	3,130.0

**Cタイプ 7 X 19**

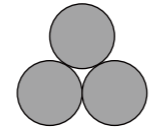


樹脂被覆コーティングも対応可能。ワイヤの特性を活かしながら、耐久性を高めることが可能です。

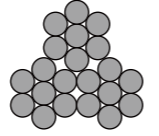


樹脂：PA・PE・PVC・PP・PU・PFA・フッ素系樹脂

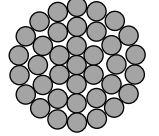
**Dタイプ 1 X 3**



**Aタイプ 3 X 7**



**Iタイプ 1 X 37**



特殊鋼、チタン・NiTi・タングステン等も他に特注ワイヤロープも製作可能です。詳しくは、お問合せ下さい。



## 技 (半球)R加工

半球加工はワイヤのバラケ防止が目的で、さらに血管やチューブ管などにワイヤを挿入する際に、それらを傷つけることなく挿入を可能にすることが目的です。

◆対応可能範囲  
ワイヤロープ・直線・パイプ・密着コイル  
適用線径：0.4mm~3.0mm

## 技 球加工

球加工は主にワイヤの先端ストッパーの役割を担います。接続される嵌合物にワイヤを固定するためにはストッパーが必要です。

◆対応可能範囲  
ワイヤロープ・直線  
加工範囲：ワイヤ径の1倍から2倍の範囲内で自由自在



## 技 針・テーパー加工

針先加工は端部を尖塔加工、テーパー加工する技術です。パイプ、直線、ワイヤロープの先端をテーパーにすることが可能です。

◆対応可能範囲  
ワイヤロープ・直線・パイプ・密着コイル  
適用線径：0.4mm~3.0mm

## 技 螺旋管・編組

螺旋管は、丸線・平線をコイル加工、密着コイルやピッチ巻コイルを長尺での製造が可能です。編組加工は、コイルなどにブレードメッシュを被せ、強度を向上させます。

◆対応可能範囲  
巻線：SUS304丸線・SUS304平線・SUS304CSP-H  
編組：SUS304WPB/W1・銅線・繊維等

